

令和3年度

赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和3年4月6日（火）

校長 柴田 佳世子

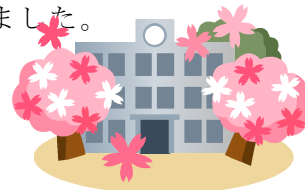
令和3年度が始まりました。 どうぞよろしく願います！

赤羽根中学校に着任して2回目の春を迎えることになりました。今年度も赤羽根中学校の素晴らしい生徒の活動を間近で見ることができ、大変幸せに思っています。

昨年度の今頃は、臨時休業が続き先の見えない不安な状況でした。令和3年度スタートの今も、コロナウイルス感染症拡大の心配は消えず、感染予防に十分に配慮した学校生活となりますが、生徒の笑顔がすぐ近くにある生活を送れることは、何よりも幸せなことだと改めて感じています。生徒の皆さんが安心安全な学校生活を送ることが出来るよう、教職員一同精一杯取り組んでいく所存です。ご協力の程、よろしく願います。

昨日行われた始業式・入学式では、立派な赤羽根中学校371名の姿がありました。入学式では、『お願い』と『大事にしていること』そして『自慢』をお話する中で『主体的な活動をする、素晴らしい生徒達』がいること。それが赤羽根中学校の自慢です。」とお伝えしました。また、始業式では、学校教育目標である『知・徳・体の調和のとれた人間になろう』について説明し、学校生活の中でつけて欲しい力を皆で確認しました。

授業・行事・部活動等の様々な活動をとおして371名の生徒の皆さんが社会の中で幸せに生きていく力を身に付け、成長する実り多い1年間となるよう、心から願っています。



○始業式：生徒代表の言葉

みなさん、おはようございます。春休みもあっという間に過ぎ、今日から新学期が始まりました。

2年生は、初めての後輩を持ち、部活動では夏から主役となっていきます。

3年生は後輩が増え、また受験期を迎えることとなります。双方共に、今まで以上に忙しくなるでしょう。しかし、ここで努力を怠ってしまうと今まで仲間と共に学んだこと、築きあげてきたものが崩れ、自分の思いどおりの学校生活が送れなくなってしまうかもしれません。そのようなことを避けるため、この新学期を機に心を入れ替え、怠惰な生活をしないと心に決めることが大切だと思います。皆さん、今期は新たな心で臨み、今言ったことを一人ひとりが意識して、これから頑張っていきましょう。

○入学式：新入生代表の言葉

暖かな春の訪れとともに、今日僕たちは中学生になりました。そして、このような素晴らしい入学式を開いていただきありがとうございます。新入生を代表してお礼を申し上げます。

今、僕は中学生になって、どんな楽しいことが待ち受けているのかという期待と、中学校の勉強や部活動についていけるのかという不安が入り混じっています。しかし、小学校6年生の1年間、これまで経験したことのないコロナ禍をみんなで力を合わせて乗り越え、今ここに立てていることは喜びであり、大きな自信につながっています。

この経験を活かし、これからの3年間、僕たち新入生は共に成長し、良い影響を与え合える関係を、この赤羽根中学校で築いていきたいと思っています。

校長先生をはじめ先生方、地域の皆様、まだまだ未熟な僕たちですが、どうか温かいご指導をよろしく願います。